

平成27年度「女性のための政策参画セミナーin鳥栖市」を開催しました

連続セミナー「未来へつなぐ 私たちのまちづくり ～女性の視点を活かして～」

今年度5市町で開催した「女性のための政策参画セミナー」の最後は、鳥栖市との共催で、鳥栖北まちづくり推進センターを会場に開催しました。

第1回「想いを実現するために」

開催：11月30日(月)10時～12時

第1回のセミナー講師は、今年5月に県内初となる女性の市議会議長に就任された伊万里市議会議長の盛泰子さん。盛さんは議員になって現在7期目。今回は議員定数問題の解決のために思い切って議長選に立候補し、異例のくじ引きにより議長に選ばれたとのことでした。

政策参画とは、「こうだったら良いのに」と思うことを実現することであり、口に出してこそ想いは伝わるので、家庭や友人関係、自主的な活動、PTAや自治会など様々な場で発言していきましょうと呼びかけられました。発言するために必要なこととして、想いを表現する訓練をする、ダブルスタンダード(二重基準)をなくす努力をする、市に対し審議会委員の公募枠を要請する、審議会を傍聴する、などを挙げられ、もし委員になったら資料の事前配布を提案し、必ず質問しましょうと話されました。

後半は、グループで「クロスロードゲーム」を体験しました。それぞれに違う考え方があること、物事には正解も不正解もなく、人それぞれの価値観の違いに気づくことができるゲームです。どのグループもいろいろな意見が出て、大変盛り上がっていました。



参加者からは、「楽しく話し合いが出来ました。Yes、Noカードがこのような話を広げるものだと感動しました」、「難しいものではなく身近な事柄としてわかりやすくお話して下さいました」などの感想が寄せられました。

第2回「個性を活かすコミュニケーション」

開催：12月5日(土)10時～12時

第2回のセミナーの講師は、株式会社アテンドの福成有美さん。政策参画に必要なコミュニケーションのポイントについて、ご自身の審議会委員の経験を交えてお話いただきました。

審議会では、多様な意見を出すことが価値となり、その発言が重要になってきます。いつか、審議会の委員になるときに、「そのときに考えよう」と思うのではなく、常日頃考えながらたくさんの意見を持ってほしいと呼びかけられました。

コミュニケーションとはキャッチボールのようなもので、相互努力が大切。相手に寄り添い、同じ目線で物事を見ていくと、「大切にされている」、「認められている」など、安心・安全な気持ちが生じて、「協働」にもつながっていくと話されました。

また、意見の違いは間違いではないので、異なる意見に対する気づきなどを大事にしながら話を聴くことで、円滑な対話ができるようになると話されました。

後半は、「鳥栖市がこんなまちになったらいいな」と思うことを各自書き出し、同じテーマを書いた人でグループとなり、課題や解決策について意見を交わしました。話し合い終了後には、「鳥栖市をどんなまちにしたいか、そのために何をするか」をプレゼンシートに書いてグループ内で発表しました。



最後に、ひとりの意見は小さいが、協働して、賛同する仲間をつくりながら、希望するまちの未来につなげてほしいと締めくくられました。



アバッセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

[アクセス・交通機関のご案内](#) ▶

[お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで